

第十二回 (株) 有線ブロードネットワークス番組審議会 議事録

開催日時：平成 16 年 6 月 9 日 11:00～

開催場所：(株) 有線ブロードネットワークス 山王パークタワー13F
プレゼンテーションルーム

出席者 委員：小林亜星、有馬祐行、池田憲一、山本武司、渡辺英夫、大島綾子（順不同・敬称略）

放送局側：8名

議事内容

1. 会社動向についての報告
2. 放送事業についての報告
3. 番組課題

A-19ch オールディーズ、 I-37ch S 盤アワー、 J-42ch アメリカングラフィティ

4. 番組審議

- A-19ch オールディーズに関しては、番組のコンセプトに合った楽曲が選曲されており大変満足感を与える内容となっている。
- 当時流行ったアメリカンヒットパレードの中での選曲にとどまらず、その時代に各国や地域で流行った音楽をリサーチすると、番組のコンセプトに合った楽曲をさらに掘り起こすことが可能である。
- J-42ch アメリカングラフィティについて、時系列で選曲するという方法もあるが、「個人リスナーに向けての放送」という観点から考えると、戦争や映画との関連性を意識した番組の構成を検討してみてもよいのではないだろうか。また、そのような観点で考えた場合、「アメリカングラフィティ」というタイトルにこだわる必要は必ずしもないと思う。
- アメリカ音楽全般に対して「どういう規範をもって解釈するのか」ということもこの機会に考えるべきではないか。
- シャンソンやタンゴなどが国内でヒットしなかった時代に、アメリカへ輸出したところ大変ヒットしたため、それらのヒット曲が国内に逆輸入したなどという背景をリスナーに彷彿させるような選曲をしてみてもどうか。
- 音楽の知識という点において以前と比較した場合、特定の分野、音楽ジャンルに長けた専門家が減少化傾向にあるので、そのような人材の発掘、育成を今以上に強化する必要がある。
- I-37ch S 盤アワーについて、景色の良いホテルのラウンジや、カウンターバーのような空間の演出には最適である。また A-19ch オールディーズについても、業務店等での使用を想定した場合、イメージがつかみやすくわかりやすい構成となっている。J-42ch アメリカングラフィティについては、ダイナミックレンジの広い楽曲が混在しているため、リクエストして聴く分には良いと思うが、長時間聴き続けることも考慮して構成していただきたい。